

tapestry

COACH | kate spade | STUART WEITZMAN

本資料は、タペストリー・インクが2022年2月10日(木)午前7時(日本時間:同日午後9時)に発表したプレスリリースの日本語翻訳版です。

<報道関係者各位>

タペストリー・インク 2022 年度第 2 四半期の業績を発表

ホリデーシーズンの記録的な収益を達成し、通年のガイダンスを上方修正

- **収益は前年比 27%増の大幅上昇、2020 年度パンデミック前水準との比較では 2 期連続 9 ポイント上昇の 18%増**
- **全ブランドで平均小売単価が対前年比で上昇**
- **GAAP ベースの EPS は 1.15ドル、非 GAAP ベースの EPS は予想を大幅に上回る 1.33ドル**

こちらの[リンク](#)から各ブランドの解説を含む 2022 年度第 2 四半期の業績説明資料(英語のみ)がダウンロードできます。

ニューヨーク 2022 年 2 月 10 日 - ニューヨークに本拠地を置き、コーチ、ケイト・スペード、スチュアート・ワイツマンをグローバル展開するモダンラグジュアリー アクセサリー & ライフスタイルのマルチブランド企業であるタペストリー・インク(NYSE:TPR)は、本日、2022 年 1 月 1 日に終了した 2022 年度第 2 四半期の業績を報告しました。

タペストリー・インク最高経営責任者のジョアン・クレヴォイセラは次のように述べています。

「ホリデーシーズンにあたる第2四半期に、当社は記録的な売上を達成しました。これは、ケイト・スペードが上昇に向かい、コーチが好調さを継続し、スチュアート・ワイツマンの収益がパンデミック前の水準へ回復したことが寄与しています。大胆な施策、魅力的な商品、効果的な遂行の組み合わせにより、全ブランドで消費者の心を掴むことができました。これらの結果に基づき、今年度の収益、営業利益、EPSのガイダンスを引き上げています」

「過去18ヶ月の実績は、当社のグローバルで多様化された、消費者中心でデータドリブンのプラットフォームの優位性を示すものです。アクセラレーション・プログラムを通じて、カスタマー・エンゲージメントとライフタイムバリューを向上させる戦略的投資を行いながら、構造的改革を遂行することで、より高い利益率での成長を着実に加速してきました。今後も重要な成長機会があると捉えており、すべてのステークホルダーに向けて価値創出に引き続き取り組んでいきます」

資本の分配

2022年度第2四半期の業績、堅牢な財務体質、大幅なフリーキャッシュフローの創出、そして成長への見通しを鑑み、タペストリー・インクは前回見通しの12億5,000万ドルから増加して、2022年度に15億ドル以上の株主還元を見込んでいます。これは現行の買戻しプログラムのもとに以前に見込んだ自社株買戻しを上回ることを示しています。

- **自社株買戻しプログラム**: タペストリー・インクは現在のところ、前回見通しの10億ドルから増加し、2022年度中に12億5,000万ドルの普通株式買戻しを見込んでいます。2022年度第2四半期に、タペストリー・インクは普通株式約1,200万株を平均42.54ドルで買い戻すために5億ドルを配分しました。2022年度上半期中には、普通株式1,800万株を平均42.02ドルで7億5,000万ドル相当買い戻しました。2022年度第2四半期末時点における承認済み残高は8億5,000万ドルです。
- **配当金の支払い**: タペストリー・インクは引き続き、1株当たり1.00ドルの年間配当金、すなわち会計年度中に約2億7,000万ドルの株主還元を見込んでいます。長期的には利益成長率を上回るペースでの増配に引き続き取り組んでいきます。
- **債務の返済**: さらに、タペストリー・インクは引き続き、2022年7月に償還満期を迎える合計4億ドルの社債を2022年度末までに償還する見込みです。これは、オーガニックな収益成長と債務返済の組み合わせでレバレッジを削減するという当社の目標を反映しています。

2022年度第2四半期の業績に関する主なハイライト

- 収益がパンデミック前の水準との比較で18%増と大きく伸び、ケイト・スペード及びコーチが牽引して連続で増収を加速。全ブランドで予想を上回る結果となりました。
- デジタルの売上が引き続き好調で、前年比約30%の成長、パンデミック前の3倍近い結果となりました。また店舗の収益トレンドが前年ベース及び前々年ベースの双方で改善しました。
- 北米では収益が2021年度対比で35%以上の成長、2020年度対比で25%以上の増加となりました。中国本土では2021年度対比で1桁台半ばの売上増、パンデミック前の水準との比較では35%以上の上昇となりました。
- 販管費の構造的なコスト削減分を、成長性を重視したマーケティング活動への積極支出などビジネスに再投資しました。
- アクセラレーション・プログラムを通して達成したビジネスへの構造的改革を反映し、パンデミック前の水準との比較で、より高い営業利益の成長と営業利益率の拡大を実現しました。

2022年度第2四半期のアクセラレーション・プログラムに関する主なハイライト

2022年度第2四半期中、タペストリー・インクは、消費者へのフォーカスの先鋭化、デジタル・ファースト思考によるデータの活用、よりスリムで対応力の高い組織への変革を通じて、アクセラレーション・プログラムで引き続き有意義な進展を果たしました。

- **北米の全チャネルで300万人近い新規顧客を獲得。**店舗とオンラインの両方が伸長し、前年比で2桁台前半の増加となりました。
- **全ブランドで、より高い顧客定着率の実現、リピート率の向上、休眠顧客の再活性化を図りました。**
- **中国人消費者に関しては、パンデミック前の水準と比較してグローバルで1桁台前半の増収となりました。**
- **コーチ、ケイト・スペード、スチュアート・ワイツマンの全ブランドで平均小売単価が世界的に上昇。**各ブランドの好調さ、主力製品の牽引力向上、販促活動削減と品揃えの効率化に向けた構造改革が奏功したことを反映しています。
- 業界全体のサプライチェーン混乱にもかかわらず、**タペストリー・インクの多様で俊敏性のあるサプライチェーンネットワークを駆使することで、在庫処理を迅速化**して増大する需要に対応しました。
- お客様のショッピング体験向上及びコンバージョン促進を目的として、**デジタル機能を高度化**させるため、人材獲得を含む大規模投資を行いました。
- **2022年度のランレートの総額3億ドルの経費節減実現に向けて引き続き順調に推移しています。**

タペストリー・インクの 2022 年度第 2 四半期の業績

- **純売上高**は、前年同期の16億9,000万ドルに対して27%増の21億4,000万ドルとなりました。パンデミック前の水準との比較では18%増でした。
- **売上総利益**は報告書ベース及び非GAAPベースで14億6,000万ドル、売上総利益率は68.1%となりました。消費者の需要に対応した製品フローを維持するため運送費が合計320ベースポイント増加し、予想どおり売上総利益率にマイナスの影響を与えました。なお前年同期の報告書ベース及び非GAAPベースの売上総利益は11億7,000万ドル、売上総利益率は69.6%でした。
- **販管費**は報告書ベースで前年同期の7億8,400万ドルに対して9億9,500万ドル、対売上比の販管費率は前年同期と同じく46.5%となりました。非GAAPベースでは、販管費が前年同期の7億6,300万ドルに対して9億8,100万ドル、対売上比の販管費率は前年同期の45.2%に対して45.8%となりました。
- **営業利益**は報告書ベースで前年同期の3億8,900万ドルに対して4億6,300万ドル、営業利益率は前年同期の23.1%に対して21.6%となりました。非GAAPベースの営業利益は4億7,600万ドル、営業利益率は22.2%となりました。なお非GAAPベースの前年同期の営業利益は4億1,100万ドル、営業利益率は24.4%でした。

- **負債の消滅**は報告書ベースで5,400万ドルの損失となり、これは2022年度第2四半期中に完了した5億ドルの現金対価の公開買い付けに伴う保険料、償却費、手数料に関連するものです。
- **支払利息の総額**は、前年同期の1,900万ドルに対して1,600万ドルでした。
- **その他の支出**は、前年同期の400万ドルの収入に対して300万ドルの支出でした。
- 2022年度第2四半期の**純利益**は報告書ベースで前年同期の3億1,100万ドルに対して3億1,800万ドル、希薄化後1株当たり利益は前年同期の1.11ドルに対して1.15ドルとなりました。2022年第2四半期の報告書ベースの税率は前年同期の16.9%に対して18.5%でした。非GAAPベースの2022年度第2四半期の純利益は3億6,800万ドル、希薄化後1株当たり利益は1.33ドルとなりました。なお非GAAPベースの2021年度第2四半期の純利益は3億2,300万ドル、希薄化後1株当たり利益は1.15ドルでした。非GAAPベースの2022年度第2四半期の税率は前年同期の18.5%に対して19.5%でした。

貸借対照表とキャッシュフローに関する主なハイライト

- **現金及び現金等価物、並びに短期投資**が合計で16億5,000万ドルになり、**借入金残高の合計**が15億9,000万ドルとなりました。2022年度第2四半期中、タペストリーは2032年満期の10年物シニア債（利率3.050%）を5億ドル発行し、2025年満期（利率4.250%）の普通社債と2027年満期（利率4.125%）の普通社債の部分的公開買付けの資金に充てました。この公開買付けでは、5億ドルの応募があり、レバレッジ・ニュートラルな取引となりました。
- 2022年度第2四半期末時点での**棚卸資産**は、前年同期末時点の6億3,200万ドルに対して7億5,000万ドルでした。
- 年度累計の**フリーキャッシュフロー**は、前年同期の6億9,700万ドルの流入に対して5億9,600万ドルの流入でした。年度累計の**設備投資**は、前年同期の5,000万ドルに対して7,200万ドルでした。

非 GAAP の調整

2022年度第2四半期中、タペストリー・インクは税引前利益を6,700万ドル、純利益を5,000万ドル、希薄化後1株当たり利益を0.18ドルそれぞれ減少させた特定の項目を計上しました。これらの項目には以下を含みます。

- **アクセラレーション・プログラム**: 主にタペストリー・インクの包括的かつ戦略的なイニシアチブの策定及び遂行に伴って発生した専門家の費用及び株式報酬に関連する税引前費用1,300万ドル。引き続きこのアクセラレーション・プログラムの期間中、主に株式報酬及び専門家の費用で構成される、2022年度の約1,500万ドルの未払金を含め、総額約2億1,500万ドルから2億2,000万ドルの税引前費用の発生を見込んでいます。
- **負債の消滅に関する費用**: 2025年満期社債及び2027年満期社債の5億ドルの現金対価の公開買い付けに伴う保険料、償却費、手数料に関連する5,400万ドルの税引前費用

報告書ベースから非GAAPベースへの調整項目の詳細は本プレスリリースの財務諸表3～6をご覧ください。

2022 年度業績見通し

タペストリー・インクの2022年度業績見通しは非GAAPベースで記載されており、本プレスリリースの「2022年度業績見通し - 非GAAPの調整について」に記載されているアクセラレーション・プログラム及び負債の消滅に関する費用は除外されています。

タペストリー・インクは2022年度業績見通しを引き上げ、現在のところ以下の通り見込んでいます。

- **収益**は前回見通しの66億ドルから増え、現在のところ約67億5,000万ドル。比較可能な52週ベースで前年度より20%近く上昇して、タペストリー・インクの過去最高レベルの売上高となる見込みです。
- **支払利息総額**は、現在のところ約6,000万ドルから6,500万ドルの範囲になると予測しています。タペストリー・インクは、2022年7月に償還満期を迎える社債を2022年度末に償還する予定です。
- **税率**は、現在の税法が継続すると想定して約18.5%。
- **希薄化後の加重平均株式数**は現在のところ、2022年度中に予定している12億5,000万ドルの自社株買戻し分を含む約2億7,400万株になる見込みです。
- **希薄化後 1 株当たり利益**は、前回ガイダンスの3.45ドルから3.50ドルの範囲を上回る3.60ドルから3.65ドルの範囲。

今もなお続く新型コロナウイルスパンデミックの動的な性質から、財務結果が現在の見通しから大きく異なる可能性があることにご留意ください。タペストリー・インクが予測し得ない外部事象としては、再び世界的にパンデミックが拡がり、その結果としての来店の制限、生産及び物流の遅延が続く可能性やコスト増といったさらなるサプライチェーンの混乱などが含まれます。

カンファレンスコールについて

タペストリー・インクは、本日 2022 年 2 月 10 日午前 8 時 00 分(米国東部標準時)に、今回発表の業績についてのカンファレンスコールを実施します。ご関心のある方は、インターネットにてライブのウェブキャスト www.tapestry.com/investors にアクセスされるか、カンファレンスコール(1-866-847-4217 または 1-203-518-9845 にダイヤルし、カンファレンス ID 9674276 を入力してください)へお申し込みください。電話による再放送(1-800-283-4641 または 1-402-220-0851 にダイヤル)は同日の米国東部標準時、正午より 5 営業日の間お聞きいただけます。ウェブキャストの再放送はタペストリー・インクのウェブサイト上で 5 営業日の間アクセスすることができます。業績説明資料も www.tapestry.com/investors でご覧いただけます。

今後の予定について

タペストリー・インクの 2022 年度第 3 四半期の業績発表は、2022 年 5 月 12 日(木)の予定です。今後お知らせを受信されたい方は www.tapestry.com/investors (“Subscribe to E-Mail Alerts”)にご登録をお願いします。

タペストリー・インクについて

タペストリー・インクは、コーチ、ケイト・スペード ニューヨーク、スチュアート・ワイツマンのそれぞれが持つ魅力を集結させたグローバルなマルチブランド企業です。各ブランドが唯一無二の個性をもつ存在でありながら、独自性のある商品と、チャネルや国・地域を超えたブランドならではの顧客エクスペリエンスによって定義される革新性と本物志向のコミットメントを共有しています。タペストリー・インクは総合力を発揮して、お客様に感動を与え、コミュニティーに力を与え、ファッション業界をより持続可能なものにするとともに、公平で、インクルージョンとダイバーシティに富んだ企業へと進化していきます。個々の象徴的ブランドがひとつになることで、無限の可能性を追求できるのです。タペストリー・インクの詳細については <http://www.tapestry.com> (英語のみ)をご覧ください。タペストリー・インクに関する重要なニュースと情報については、Investor Relations のセクション www.tapestry.com/investors をご覧ください。さらに、投資家の皆様はタペストリー・インクのニュースリリース及び証券取引委員会への報告を引き続きご確認ください。タペストリー・インクは投資家の皆様への主要な情報の配信網としてこれらを活用しており、一部には重要情報や未公開情報が含まれている場合があります。タペストリー・インクの普通株式はニューヨーク証券取引所でティッカーシンボル TPR で取引されています。

当プレスリリースには将来の見通しが含まれていますが、実際の結果は事業に及ぼす様々なリスクや不確定な事由により現在の見通しと異なる可能性があります。タペストリー・インクは、法律で求められる場合を除き、いかなる理由でも当資料に含まれる将来の見通しに関する記述内容を修正または更新する義務を一切負いません。

###

財務諸表 1: 連結(要約)損益計算書

タバストリー・インク 連結(要約)損益計算書

2022年1月1日及び2020年12月26日終了の四半期及び6ヶ月

(単位: 百万ドル、ただし1株当たり純利益を除く)

	(未監査) 下記期日に終了の四半期		(未監査) 下記期日に終了の6ヶ月	
	2022年1月1日	2020年12月26日	2022年1月1日	2020年12月26日
	売上高	\$ 2,141.2	\$ 1,685.4	\$ 3,622.1
売上原価	683.8	511.7	1,096.0	853.7
売上総利益	1,457.4	1,173.7	2,526.1	2,003.9
販売管理費	994.6	784.3	1,768.3	1,412.3
営業利益(損失)	462.8	389.4	757.8	591.6
負債の消滅による損失	53.7	-	53.7	-
支払利息	15.9	18.7	32.0	38.1
その他の支出(収入)	3.1	(3.6)	5.3	(6.2)
税引前利益(損失)	390.1	374.3	666.8	559.7
税引当金	72.2	63.3	122.0	17.0
純利益(損失)	\$ 317.9	\$ 311.0	\$ 544.8	\$ 542.7
1株当たり純利益(損失)				
基本	\$ 1.17	\$ 1.12	\$ 1.98	\$ 1.96
希薄化後	\$ 1.15	\$ 1.11	\$ 1.94	\$ 1.94
1株当たり純利益の算出で使用了株式数				
基本	271.1	277.5	274.5	277.1
希薄化後	277.2	281.0	281.0	279.4

財務諸表 2: 売上高内訳

タバストリー・インク 売上高内訳

2022年1月1日及び2020年12月26日終了の四半期及び6ヶ月

(単位: 百万ドル)

(未監査)

	下記期日に終了の四半期		増減率 (2021年度対比)	恒常通貨ベースの 増減率(2021年度対比)	増減率 (2020年度対比)
	2022年1月1日	2020年12月26日			
コーチ	\$ 1,525.0	\$ 1,225.3	24 %	24 %	20 %
ケイト・スベード	500.4	375.6	33 %	33 %	16 %
スチュアート・ワイツマン	115.8	84.5	37 %	35 %	0 %
タバストリー合計	\$ 2,141.2	\$ 1,685.4	27 %	27 %	18 %
	下記期日に終了の6ヶ月		増減率 (2021年度対比)	恒常通貨ベースの 増減率(2021年度対比)	増減率 (2020年度対比)
	2022年1月1日	2020年12月26日			
コーチ	\$ 2,639.9	\$ 2,100.7	26 %	25 %	18 %
ケイト・スベード	799.9	616.0	30 %	30 %	9 %
スチュアート・ワイツマン	182.3	140.9	29 %	27 %	(10)%
タバストリー合計	\$ 3,622.1	\$ 2,857.6	27 %	26 %	14 %

財務諸表 3: 比較可能性に影響を与える項目 – 2022 年度第 2 四半期

タペストリー・インク				
GAAPから非GAAPへの調整				
(単位: 百万ドル、ただし1株当たり純利益を除く)				
(未監査)				
2022年1月1日終了の四半期				
比較可能性に影響を与える項目				
GAAPベース (報告書)	負債の消滅	アクセラレーション・ プログラム	非GAAPベース (特殊要因除外後)	
売上原価				
コーチ	1,078.2	-	-	1,078.2
ケイト・スベード	308.0	-	-	308.0
スチュアート・ワイツマン	71.2	-	-	71.2
売上総利益 ⁽¹⁾	\$ 1,457.4	\$ -	\$ -	\$ 1,457.4
販売管理費				
コーチ	604.9	-	1.1	603.8
ケイト・スベード	224.3	-	2.1	222.2
スチュアート・ワイツマン	57.9	-	2.9	55.0
会社	107.5	-	7.2	100.3
販売管理費	\$ 994.6	\$ -	\$ 13.3	\$ 981.3
営業利益(損失)				
コーチ	473.3	-	(1.1)	474.4
ケイト・スベード	83.7	-	(2.1)	85.8
スチュアート・ワイツマン	13.3	-	(2.9)	16.2
会社	(107.5)	-	(7.2)	(100.3)
営業利益(損失)	\$ 462.8	\$ -	\$ (13.3)	\$ 476.1
負債の消滅による損失				
	53.7	53.7	-	-
税引当金				
	72.2	(12.9)	(4.1)	89.2
純利益(損失)	\$ 317.9	\$ (40.8)	\$ (9.2)	\$ 367.9
希薄化後1株当たり純利益(損失)	\$ 1.15	\$ (0.15)	\$ (0.03)	\$ 1.33

⁽¹⁾ 売上総利益の調整額は売上原価に計上

財務諸表 4: 比較可能性に影響を与える項目 – 2021 年度第 2 四半期

タペストリー・インク				
GAAPから非GAAPへの調整				
(単位: 百万ドル、ただし1株当たり純利益を除く)				
(未監査)				
2021年12月26日終了の四半期				
比較可能性に影響を与える項目				
GAAPベース (報告書)	CARES Act による税効果	アクセラレーション・ プログラム	非GAAPベース (特殊要因除外後)	
売上原価				
コーチ	888.1	-	-	888.1
ケイト・スベード	233.1	-	-	233.1
スチュアート・ワイツマン	52.5	-	-	52.5
売上総利益 ⁽¹⁾	\$ 1,173.7	\$ -	\$ -	\$ 1,173.7
販売管理費				
コーチ	476.1	-	5.8	470.3
ケイト・スベード	174.3	-	2.4	171.9
スチュアート・ワイツマン	40.6	-	(2.3)	42.9
会社	93.3	-	15.8	77.5
販売管理費	\$ 784.3	\$ -	\$ 21.7	\$ 762.6
営業利益(損失)				
コーチ	412.0	-	(5.8)	417.8
ケイト・スベード	58.8	-	(2.4)	61.2
スチュアート・ワイツマン	11.9	-	2.3	9.6
会社	(93.3)	-	(15.8)	(77.5)
営業利益(損失)	\$ 389.4	\$ -	\$ (21.7)	\$ 411.1
税引当金				
	63.3	(3.3)	(6.4)	73.0
純利益(損失)	\$ 311.0	\$ 3.3	\$ (15.3)	\$ 323.0
希薄化後1株当たり純利益(損失)	\$ 1.11	\$ 0.01	\$ (0.05)	\$ 1.15

⁽¹⁾ 売上総利益の調整額は売上原価に計上

財務諸表 5: 比較可能性に影響を与える項目 – 2022 年度第 2 四半期までの累計

タペストリー・インク
GAAPから非GAAPへの調整
(単位: 百万ドル、ただし1株当たり純利益を除く)
(未監査)

	2022年1月1日終了の6ヶ月			
	比較可能性に影響を与える項目			
	GAAPベース (報告書)	負債の消滅	アクセラレーション・ プログラム	非GAAPベース (特殊要因除外後)
売上原価				
コーチ	1,909.2	-	-	1,909.2
ケイト・スベード	507.2	-	-	507.2
スチュアート・ワイツマン	109.7	-	-	109.7
売上総利益⁽¹⁾	\$ 2,526.1	\$ -	\$ -	\$ 2,526.1
販売管理費				
コーチ	1,070.2	-	2.5	1,067.7
ケイト・スベード	386.3	-	3.5	382.8
スチュアート・ワイツマン	97.9	-	3.3	94.6
会社	213.9	-	16.1	197.8
販売管理費	\$ 1,768.3	\$ -	\$ 25.4	\$ 1,742.9
営業利益(損失)				
コーチ	839.0	-	(2.5)	841.5
ケイト・スベード	120.9	-	(3.5)	124.4
スチュアート・ワイツマン	11.8	-	(3.3)	15.1
会社	(213.9)	-	(16.1)	(197.8)
営業利益(損失)	\$ 757.8	\$ -	\$ (25.4)	\$ 783.2
負債の消滅による損失	53.7	53.7	-	-
税引当金	122.0	(12.9)	(8.0)	142.9
純利益(損失)	\$ 544.8	\$ (40.8)	\$ (17.4)	\$ 603.0
希薄化後1株当たり純利益(損失)	\$ 1.94	\$ (0.15)	\$ (0.06)	\$ 2.15

⁽¹⁾ 売上総利益の調整額は売上原価に計上

財務諸表 6: 比較可能性に影響を与える項目 – 2021 年度第 2 四半期までの累計

タペストリー・インク
GAAPから非GAAPへの調整
(単位: 百万ドル、ただし1株当たり純利益を除く)
(未監査)

	2020年12月26日終了の6ヶ月			
	比較可能性に影響を与える項目			
	GAAPベース (報告書)	CARES Act による税効果	アクセラレーション・ プログラム	非GAAPベース (特殊要因除外後)
売上原価				
コーチ	1,533.0	-	-	1,533.0
ケイト・スベード	387.2	-	-	387.2
スチュアート・ワイツマン	83.7	-	-	83.7
売上総利益⁽¹⁾	\$ 2,003.9	\$ -	\$ -	\$ 2,003.9
販売管理費				
コーチ	851.0	-	16.5	834.5
ケイト・スベード	305.2	-	3.4	301.8
スチュアート・ワイツマン	71.8	-	(4.7)	76.5
会社	184.3	-	33.1	151.2
販売管理費	\$ 1,412.3	\$ -	\$ 48.3	\$ 1,364.0
営業利益(損失)				
コーチ	682.0	-	(16.5)	698.5
ケイト・スベード	82.0	-	(3.4)	85.4
スチュアート・ワイツマン	11.9	-	4.7	7.2
会社	(184.3)	-	(33.1)	(151.2)
営業利益(損失)	\$ 591.6	\$ -	\$ (48.3)	\$ 639.9
税引当金	17.0	(95.0)	(12.2)	124.2
純利益(損失)	\$ 542.7	\$ 95.0	\$ (36.1)	\$ 483.8
希薄化後1株当たり純利益(損失)	\$ 1.94	\$ 0.34	\$ (0.13)	\$ 1.73

⁽¹⁾ 売上総利益の調整額は売上原価に計上

タペストリー・インクは米国会計基準(GAAP)に従って情報を報告しています。経営陣が、非GAAP財務指標を、GAAPに基づいて作成された財務情報から切り離して単独で評価したり、その代用とすることは無く、投資家にそれを推奨するものでもありません。また、タペストリー・インクが用いた非GAAP指標はタペストリー・インク特有のものである場合があり、他社が用いる非GAAP指標とは異なる場合があります。上記の財務情報、販管費率、営業利益率は、2022年度第2四半期及び上半期のアクセラレーション・プログラム及び負債の消滅に関する費用、2021年度第2四半期及び上半期のCARES Actに基づいてタペストリー・インクが適用を受けた税法上の優遇措置に関連する特定項目の影響とアクセラレーション・プログラムの費用を含む場合と含まない場合の両方で表示されています。

タペストリー・インクはグローバルに事業を運営しており、GAAPに基づいて財務業績を米ドルで報告しています。タペストリー・インク及び各セグメントの純売上上の増減率は外貨建て売上上の米ドル換算に際して為替変動の影響を算入・除外し、前四半期及び前年同期と比較して表示しています。タペストリー・インクは、前期の月平均の換算レートを使って、当期の純売上を現地通貨に換算することで恒常通貨ベースでの純売上を計算しています。

タペストリー・インク及び各セグメントの純売上上の変動については、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響を受ける不確実なビジネス環境のため、売上上の絶対額の変動に基づくものであり、これまで用いてきたタペストリー・インクの既存店売上上の定義に基づく表示ではありません。

経営陣はこれらの非GAAP及び恒常通貨の指標を使って事業を行い、該当期間に関する営業成績の定期報告の間に事業を評価し、会社のリソース及び業績に関する意思決定を行います。タペストリー・インクは、これらの期間比較ができない項目を除く非GAAP指標を提示することは、投資家及びその他の人々が会社の継続的な営業成績や財務結果を経営陣の業績評価と一致する方法で評価し、それらの結果を会社の過去の業績と比較して理解する上で役立つものと確信しています。さらにタペストリー・インクはこれら指標を恒常通貨ベースで表示することは、前年比の為替レートの変動がこれら業績指標に与える重大な影響について投資家及びアナリストの理解を助け、これらの影響を除外した場合の業績及び業績見込みを評価する枠組みを提供するものと確信しています。

これらの非GAAP指標に加えて、タペストリー・インクは特定の業績及び傾向について、パンデミック前の水準である2020年度との比較を提供していますが、これは新型コロナウイルス感染症の世界的流行が会社の2020年度下半期の事業及び財務状況に多大な影響を及ぼしたため、投資家及びその他の人々が会社の業績を評価する上で有用であると考えたからです。

2022年度業績見直し - 非GAAPの調整について

タペストリー・インクは、本プレスリリース及びカンファレンスコールにおいて提示された非GAAP財務指標をGAAPと完全に調整して提供することができません。これはアクセラレーション・プログラムに関連する費用の発生時期や正確な金額など、指標に影響を与える重要項目がまだ発生していないか、タペストリー・インクの管理下にないためです。従って、非GAAP財務指標のガイダンスのGAAP指標との調整は非論理的な手続きなく提示し得ません。可能な限り、タペストリー・インクは2022年度業績ガイダンスから除外された項目によって見込まれる影響を特定しています。

この2022年度の非GAAPベースのガイダンスには、主に株式報酬と専門家の費用で構成される4,000万ドルから4,500万ドルのアクセラレーション・プログラム費用、2025年満期社債及び2027年満期社債の5億ドルの現金対価の公開買付けに伴う保険料、償却費、手数料に関連して2022年度第2四半期に発生した5,400万ドルの負債の消滅に関する費用が除外されています。

財務諸表 7: 連結(要約)貸借対照表

タペストリー・インク
連結(要約)貸借対照表
2022年1月1日、2021年7月3日現在
(単位:百万ドル)

	(未監査)	(監査済)
	2022年1月1日	2021年7月3日
資産		
現金及び現金等価物、並びに短期投資	\$ 1,647.7	\$ 2,015.8
売掛金	292.7	200.2
棚卸資産	750.0	734.8
その他流動資産	368.1	424.5
流動資産合計	3,058.5	3,375.3
有形固定資産(減価償却後)	647.7	678.1
オペレーティングリース使用権資産	1,403.6	1,496.6
その他固定資産	2,819.6	2,832.4
資産合計	\$ 7,929.4	\$ 8,382.4
負債及び資本		
買掛金	\$ 468.2	\$ 445.2
未払債務	667.5	661.2
短期オペレーティングリース負債	308.0	319.4
1年内返済予定長期借入金	400.0	-
流動負債合計	1,843.7	1,425.8
長期借入金	1,189.1	1,590.7
長期オペレーティングリース負債	1,414.8	1,525.9
その他負債	554.4	580.7
株主資本	2,927.4	3,259.3
負債及び資本合計	\$ 7,929.4	\$ 8,382.4

財務諸表 8: 連結(要約)キャッシュフロー計算書

タバストリー・インク
 連結(要約)キャッシュフロー計算書
 2022年1月1日及び2020年12月26日終了の6ヶ月間
 (単位: 百万ドル)

	(未監査)	
	2022年1月1日	2020年12月26日
営業活動によるキャッシュフロー		
当期純利益	\$ 544.8	\$ 542.7
当期純利益(損失)から営業活動によるキャッシュフローへの調整		
減価償却費	99.6	102.4
負債の消滅による損失	53.7	-
その他の非現金項目	49.6	(118.4)
営業資産及び負債の変動額	(79.6)	219.6
営業活動から生じた現金	668.1	746.3
投資活動によるキャッシュフロー		
固定資産の取得	(71.7)	(49.7)
有価証券の取得	(502.3)	(0.2)
その他	118.3	24.1
投資活動から生じた(に使用した)現金	(455.7)	(25.8)
財務活動によるキャッシュフロー		
配当金の支払	(137.5)	-
自己株式の取得	(750.0)	-
社債の発行による収入(割引後)	498.5	-
負債消滅費用の支出	(50.7)	-
債務の返済	(500.0)	(11.5)
リボルビング・クレジット・ファシリティの返済	-	(500.0)
その他	(12.4)	(7.4)
財務活動から生じた(に使用した)現金	(952.1)	(518.9)
為替相場変動の現金及び現金等価物に対する影響	(10.6)	14.7
現金及び現金等価物の純増(純減)	(750.3)	216.3
現金及び現金等価物の期首残高	\$ 2,007.7	\$ 1,426.3
現金及び現金等価物の期末残高	\$ 1,257.4	\$ 1,642.6

財務諸表 9: ブランド毎の店舗数 – 2022 年度第 2 四半期

<u>タペストリー・インク</u>				
店舗数				
2021年10月2日、2022年1月1日 現在				
(未監査)				
直営店舗数:	2021年 10月2日現在	出店数	(閉店数)	2022年 1月1日現在
<u>ヨーチ</u>				
北米	355	-	(1)	354
海外	583	19	(2)	600
<u>ケイト・スピード</u>				
北米	209	-	-	209
海外	193	1	(2)	192
<u>スチュアート・ワイツマン</u>				
北米	44	-	(1)	43
海外	57	-	-	57

財務諸表 10: ブランド毎の店舗数 – 2022 年度第 2 四半期までの累計

<u>タペストリー・インク</u>				
店舗数				
2021年7月3日、2022年1月1日 現在				
(未監査)				
直営店舗数:	2021年 7月3日現在	出店数	(閉店数)	2022年 1月1日現在
<u>ヨーチ</u>				
北米	354	3	(3)	354
海外	585	24	(9)	600
<u>ケイト・スピード</u>				
北米	210	-	(1)	209
海外	197	3	(8)	192
<u>スチュアート・ワイツマン</u>				
北米	48	-	(5)	43
海外	56	1	-	57

###